

事業計画書

(R8年度)

令和8年度

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

社会福祉法人 つつじの福祉会

訪問介護ステーション グランドファミリア谷八木
デイサービスセンター グランドファミリア谷八木

I 基本理念・事業運営方針

高齢者が要支援・要介護状態になっても、介護保険法が目指す「自立支援」「自己決定」「生活の継続」の3つを、当法人が追及するサービスの本質のキーワードとして据え、利用者お一人おひとりの思いや願いが叶い、今までと同じように家族や地域社会とのかかわりが継続でき、馴染みのある職員による専門的な支援を受けながら、利用者、家族、職員がともに生（活）きる暮らしを実現し、信頼でつながった日常となるよう運営していきます。

<法人理念>

「これからも あなたが あなたらしく暮らせるように・・・」

II 収支予算

(単位：千円)

科 目	年 度 収 支 予 測		
	住 宅	「訪問介護事業」	「デイサービス」
事業活動収入			
事業活動支出			
事業活動資金収支差額			
借入金等返済金支出			
当期資金収支差額			

別紙の財務資料にて報告

III 組織体制

1 社会福祉法人つつじの福祉会の R8 年度 組織体制

※ 添付資料参照

IV 業務指針

1 総 括

「まつかぜの郷」「はぎの郷」の待機利用者の安定確保の運営課題、またさらなる人事面・運営面・財政面及び職員の福利厚生の実質の充実・安定化の強化を目的として令和5年11月1日より「サービス付き高齢者住宅」、「デイサービスセンター」事業を承継、「訪問介護ステーション」を新規開設しました。また令和8年2月1日より「グランドファミリア谷八木2号館(16床)」も新規開設を無事にできました。

2026年度計画は最重要課題として人事面、運営面での充実と安定化、(職員一同の最大限のマンパワーの発揮によるところ大)、事業承継前のこの事業の決算書は▲一千八百万円となっていました。当法人の人事面、運営面でのノウハウを活用して事業改変・組織改変の実施に取り組み、令和8年度の当事業所も黒字の決算を迎えるよう運営していきます。

2026年度計画は、これらの組織のさらなる人事面・運営面・財政面及び職員の福利厚生の実質の充実・安定化の強化を「2026年度の戦略的計画課題」とし、この組織で働く全職員の福利厚生面、処遇面の向上、については今の社会情勢に打たれることなく離職率をできる限りなくす為の法人としての楽しい職場づくり、家族愛の創造、志の共有、希望の共有、利用者・職員のやりがいの共有、笑顔の共有、創造を戦略的な運営目的として取り組んでいきます。

利用者とのかかわり

① 事業所理念

「我見、離見、離見の見（自分をみること、相手の立場から自分を見ること、人間関係を俯瞰して見ること）」の姿勢でご利用者の生活を支え、職員と協働します。

法人としての家族愛の創造、志の共有、希望の共有、利用者・職員のやりがい・生きがいの共有、笑顔の共有の創造を理念の目的として取り組みます。

② 運営方針

「主権者は利用者である」常に迷ったら利用者の声に耳を傾ける

(イ) ご利用者お一人おひとりの思いや希望が叶い、ご家族や地域社会とのかかわりが継続できる運営をおこないます。

(ロ) ご利用者もご家族も職員も信頼で結ばれ、優しさとふれあいを大切にする運営をおこないます。

(ハ) 地域の中の施設として、地域の保健・医療・福祉サービスとの連携を図るとともに地域の一員として貢献できる運営をおこないます。

③ ケアマネジメント

利用者ご本人の「今」にマッチした有用性の高い介護計画を作成するため、利用者お一人おひとりとの関わり（会話、言動把握、仕草・表情等）の中から、ご本人が望む日常となるようその思い・意向を汲み取り、ご家族の要望・医療従事者・職員の意見も踏まえます。現況把握（ケアカンファレンス）及びモニタリングの頻度を上げ、介護計画の見直し等ブラッシュアップに繋がります（介護現場と専門職員との連携強化）。

④ 食事と健康管理

「食べる事」は生きる事の原点であり高齢者の楽しみ事の一つです。各ユニットにおいて、栄養士と情報共有しながら、『食』への関心ができる限り継続するようはかります（食事時間における匂い・雰囲気共有、配膳・下膳、洗い物等を一緒におこなう等）。

また、口腔内の保清に努め、嚥下機能の持続にも留意します。

⑤ 認知症の方への支援

認知症は「脳」にかかる進行性の病気であることを理解した上で、ご本人のBPSDへの係わりを職員間で相談・検討しながら取り組み、穏やかな日常となるよう努めます。そのための方策として、「認知症ケア」能力の意図的・計画的向上施策の検討及びその実践を図ります。

⑥ 看取り支援について

「この施設でよかった・・・」と最後に言ってもらえるよう、終の棲家としての機能を有している事業所としての役割を十分理解し、看取り介護を実践します。

（ご家族への精神的負担の緩和支援や職員への看取り介護に対する研修の継続実施）。

⑦ 季節ごとの行事

年初の初詣から年末の大晦日まで、季節に応じた行事や食事を取り入れ、四季の移ろい等も実感していただきます。施設全体行事とユニット単位行事の両方でご本人への「憩いと潤い」の体现、ご家族や地域との接点も広げ、様々なボランティアや団体等の協力もいただきながら取組みます。

(2) 事故への対応

日々、機能が低下する暮らしの中で、不測の事故は起こり得る事を前提に、「ヒヤリ・ハット」をいかに速く多く見出すかに重点を置き、「ヒヤリ・ハット」を発見することを業務の一環として位置づけ、定期的に「ヒヤリ・ハット大賞」等のセレモニーをおこない精度を高める施策を講じます。事故が発生した場合には、冷静かつ誠実に素早く利用者ご本人へ対応（状況の把握、バイタル等の確認）し、看護職員とともに医師への連絡・救急搬送依頼等最善の策を講じます。再発防止への取組み、行政への報告等も遅滞なくおこないます。

(3) 防災対策

防災・非常災害時への取組みとして、「防災・非常災害への対策本部の組織と事務分掌」の明確化、並びに初動活動（発生後 72 時間以内）及び応急活動（発生後 72 時間以降）に分け対応します。災害等は非日常の出来事であるため、「災害、緊急時対応マニュアル」を整備し、研修及び通報・消火・避難訓練や緊急時参集訓練、職員向け緊急時対応訓練を実施します。訓練に際しては、消防署と協議しながらご利用者の現況に応じた具体的な避難誘導となるよう取組みます。地域の方々とも防災・非常災害について意見交換し協力体制を構築します。

V 「訪問介護事業所グランドファミリア谷八木」事業計画

1 事業所方針

事業所理念・方針を縦軸とし、「利用者ファースト」のスタンスをぶれることなく追及し、「グランドファミリア谷八木」での暮らしが利用者にとって利用者らしく望ましいもの、また「快」となるよう、「チームケア」を横軸に、飽くなきひたむきに取組みます。

そのことを通じ、この組織で働く全職員が楽しいと思える職場づくり、福利厚生面、処遇面の向上、ついては今の社会情勢に打たれることなく離職率をできる限りなくす為の法人として家族愛の創造、志の共有、希望の共有、利用者・職員のやりがいの共有、笑顔の共有の創造を戦略的な運営目的として取り組んでいきます。

2 部門単位方針・重点施策

施設年間テーマ（目標）

- ・「主権者は利用者である」常に迷ったら利用者の声に耳を傾けるサービス提供の運営
- ・利用者を主としたチームケアの機能の向上の実践実施

(1) 介護部門

施設年間テーマ（目標）

「利用者の自己決定（意思）が尊厳されたサービス提供の実施」

② 互いに高めあう項目

- ・徹底した情報共有と理解
- ・コミュニケーションと信頼関係の構築
- ・優先順位を考えた行動
- ・接遇マナーの基本（5原則）
 - 身だしなみ 挨拶 聴く姿勢 表情 言葉遣い
- ・ユニットケアへの積極的な取組み
- ・「個別ケア」実現のための取組み
- ・「本人本位（自己決定）」「現有能力」を踏まえた適切な支援
- ・見守り、コミュニケーション、適度に緊張感（馴れ合いでなく親しみの）ある支援
- ・「不適切なケア」の払拭へ取組む
- ・タイムマネジメント力の養成
- ・意図的・計画的行動の実践

(2) ケアマネジメント（サービス提供責任者）

年間テーマ（目標）

「ご利用者と家族、担当ケアマネジャー、介護職員に自分から進んでコミュニケーションをとることで情報アセスメントを実施して、またより信頼していただけるようなサービス提供管理を実施していきます」

- ① 丁寧なサービス提供の作成
- ② ケアカンファレンス開催の定例化
- ③ サービス提供状況の把握（利用者・家族の声、介護職員の声、担当ケアマネの声等）
- ④ 入居者・家族との関係作りを行っていく

VI 「デイサービスセンターグランドファミリア谷八木」事業計画

1 施設方針

事業所理念・方針を縦軸とし、「利用者ファースト」のスタンスをぶれることなく追及し、「デイサービスセンターグランドファミリア谷八木」での日中の過ごし方が利用者にとって望ましいもの、また「快」となるよう、「チームケア」を横軸に、飽くなきひたむきに取り組めます。また、そのことを通じ、この組織で働く全職員が楽しいと思える職場づくり、福利厚生面、処遇面の向上、については今の社会情勢に打たれることなく離職率をできる限りなくす為の法人としての家族愛の創造、志の共有、希望の共有、利用者・職員のやりがいの共有、笑顔の共有の創造を戦略的な運営目的として取り組んでいきます。

2 部門単位方針・重点施策

施設年間テーマ（目標）

- ・「主権者は利用者である」常に迷ったら利用者の声に耳を傾けるサービス提供の運営
- ・利用者を主としたチームケアの機能の向上の実践実施

(2) 介護部門

施設年間テーマ（目標）

「利用者の自己決定（意思）が尊厳されたサービス提供の実施」

- ② 互いに高めあう項目

- ・徹底した情報共有と理解
- ・コミュニケーションと信頼関係の構築
- ・優先順位を考えた行動
- ・接遇マナーの基本（5原則）
 - 身だしなみ 挨拶 聴く姿勢 表情 言葉遣い
- ・ユニットケアへの積極的な取組み
- ・「個別ケア」実現のための取組み
- ・「本人本位（自己決定）」「現有能力」を踏まえた適切な支援
- ・見守り、コミュニケーション、適度に緊張感（馴れ合いでなく親しみの）ある支援
- ・「不適切なケア」の払拭へ取組む
- ・タイムマネジメント力の養成
- ・意図的・計画的行動の実践

(3) 看護部門（機能訓練含む）

年間テーマ（目標）

「一日一笑」・思いやりの心で利用者・介護職員にも接し、安心安全に過ごせるように創意工夫する」

- ① 心身ともに健康で笑顔を武器に過ごす
- ② 統一した対応・支援を実践する
- ③ 情報共有の徹底
- ④ 報・連・相の励行
- ⑤ コミュニケーションを密にし、申し送りを強化する
- ⑥ 情報共有の徹底

(4) 生活相支援談員

年間テーマ（目標）

「ご利用者と家族、担当ケアマネジャー、介護職員に自分から進んでコミュニケーションをとることで情報アセスメントを実施し、よりよい信頼をしていただけるようなサービス・相談支援を実施していきます」

- ① 丁寧な相談業務を行います
- ② 専門性を発揮した相談業務の実践
- ③ 安定した稼働率の確保
- ④ 法令を遵守した業務遂行
- ⑤ 家族及び地域との連携を深める
- ⑥ サービス提供状況の把握（利用者・家族の声、介護職員の声、担当ケアマネの声等）

1. 会議（グラッドファミリア谷八木）

会議名	開催時期	出席者
住宅・訪問介護事業所	毎月 第3水曜日 15:00～16:00	統括、部長、管理種、サ責、住宅施設長、
デイサービス会議	毎月 第3水曜日 16:30～17:30	統括、部長、センター長、生活相談員、介護職員、看護職員

2. 研修・訓練等

R8年度 施設内職員研修表

実施月	研修・勉強会	研修・勉強会の目標	担 当
4月	看取り研修 施設非常・緊急時対応 について	非常・緊急時の各人の対応・役割の整理と指示・連絡系統の確認	高 嶺
5月	身体拘束等適正化に向けて①	日々の支援の振り返りを通じて身体的拘束等の廃止への取組みを確認する（事例検討）	高 嶺
6月	感染対策(食中毒)・まん延防止① テーマ：食中毒対策(実習)	この時期に注意すべき食中毒の予防とまん延防止	高 嶺
7月	高齢者虐待防止研修① 口腔ケア研修①	施設における虐待と防止について学ぶ	高 嶺
8月	介護事故安全対策について①	高齢者施設での介護事故・安全対策について	高 嶺
9月	認知症ケア ① 接遇に関する研修	認知症ケア技法（その1）を学ぶ	高 嶺
10月	プライバシー保護について 倫理・法令順守の研修	介護現場におけるプライバシー保護の実際を検証する コンプライアンスについて	高 嶺
11月	感染対策(褥瘡)・まん延防止② テーマ：褥瘡対策・嘔吐 処理実習	褥瘡等への予防策及び発生時の対応を学ぶ	高 嶺
12月	身体拘束等適正化に向けて② 口腔ケア研修②	日々の支援の振り返りを通じて身体的拘束等の廃止への取組みを確認する（事例検討）	高 嶺
1月	高齢者虐待防止研修② 権利擁護について	権利擁護に関する制度の基本理解と情報発信の方法について学ぶ	高 嶺
2月	介護事故安全対策について② BCP（感染）	高齢者施設での介護事故・安全対策について	高 嶺
3月	認知症ケア ②・BCP （災害）	認知症ケア技法（その2）を学ぶ	高 嶺